

WAP121およびWAP321アクセスポイントでのBonjourの有効化

目的

Bonjourは、マルチキャストのドメインネームシステム(mDNS)を使用して、LAN上のコンピュータ、デバイス、およびサービスの自動検出を可能にするサービス検出プロトコルです。WAP121とWAP321でBonjourを有効にすると、同じネットワーク上のすべてのデバイスがその存在を認識できるようになります。Bonjour対応WAPデバイスの管理インターフェイスにアクセスするには、どのBonjour対応クライアントでも事前設定できます。

この記事では、WAP121およびWAP321アクセスポイントでBonjourを有効にする方法について説明します。

注：Bonjour検出プロトコルを使用するデバイスは、Bonjourが有効になるまで見つかりません。

該当するデバイス

- WAP121
- WAP321

[Software Version]

- 1.0.3.4

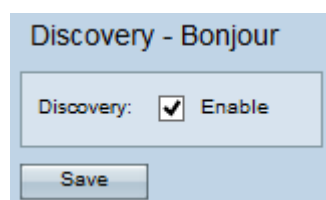
Bonjourディスカバリの有効化

アクセスポイントは、Bonjourが有効な場合にこれらのサービスタイプをアドバタイズします。

- シスコ固有のデバイスの説明：クライアントがスモールビジネスのネットワークに導入されているCisco APおよびその他の製品を検出できるようにします。
- 管理ユーザインターフェイス：APで使用可能な管理インターフェイス (HTTP、Telnet、SSH、およびSNMP) を示します。 Bonjour対応アクセスポイントがネットワークに接続されている場合、Bonjourクライアントは事前の設定を行わなくても管理インターフェイスを検出してアクセスできます。

Bonjourを使用してAPを検出できるようにするには、次の手順に従います。

ステップ1:Web構成ユーティリティにログインし、[Administration] > [Discovery - Bonjour]を選択します。「ディスカバリ-Bonjour」ページが開きます。



ステップ2:[Discovery]フィールドの[Enable] チェックボックスをオンにして、アクセスポイントでBonjourを有効にします。

手順 3 : [Save] をクリックして変更内容を保存します。